

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月28日

事業所名 鳥取県立中部療育園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○				現在少人数で活動しているが、契約児 全員(プラス保護者)が集まると手狭か もしれない。
	2	職員の配置数は適切である	○				新型コロナに係る休暇、在宅勤務等で 人員配置に苦勞する場面もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○			整備されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○			年1回保護者アンケート を実施し、情報を共有し ている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			ホームページで公開して いる。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	○			去年度実施。2年に1回 第三者評価を行っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○			・新型コロナの影響で研 修の機会が減っている が、オンラインでの研修 に参加している。 ・スタッフ間の日々のコ ミュニケーションのなかや 自主的に行っている。	
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者のニーズの聞き 取り、ご本人の様子に よってサービスを計画し ている。	新型コロナ感染防止対策のため、保護 者の希望に添えない場合がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	○			・観察や情報収集で行っ ている部分もある。 ・必要に応じて外来など で対応している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	○			事前打ち合わせで意見 を出し合い、立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	○			利用回数に限られるの で、大きく内容が変化して 不安感を持つことのない ようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	○			平日のみの活動だが、き め細やかな支援を行って いる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	○			現在は感染症対策のため 集団活動は控え、個別 活動のみを行っている。 同じ空間を共有してい ると感じられる工夫をして いる。	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			電子カルテに記録し、他職員とも共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1度支援計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		サービス担当者会議に呼ばれない。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて連携を取り、情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			該当ケースなし。必要に応じて行う。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			他の放課後等デイサービスや訪問系サービスとの連携はあり。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	新型コロナウイルス感染防止のため行っていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			来園の際に聞き取りを行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時、または契約内容変更時に説明している。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		<p>コロナの関係で難しさもあるが、意見交換会など保護者同士で話ができる場の検討をしている。</p> <p>・コロナの感染状況をみながら前期は保護者が集まったの意見交換会を実施した。 ・現在感染症予防で通常活動での保護者の交流時間は設けていない。</p>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			第三者委員による苦情受付の体制を整備している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報は発行していないが、その都度保護者へ「お知らせ」として対応している。
	35	個人情報に十分注意している	○			職員に対して個人情報に係る職場研修を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	<p>行事は行っていない。 新型コロナウイルス感染防止のため地域との交流は行っていない。</p>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルはあるが、保護者への周知は行っていない。保護者にも周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年1回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修機会があれば受講勧奨している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			必要な利用者がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			放課後等デイサービスでの食事及びおやつ等の提供はなし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例を共有している。